

別紙2

「疫学研究に関する倫理指針」第3. 1 (2) <インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づく
当院ホームページへの公開情報

研究機関名：呉共済病院

1. 研究課題名

当院におけるEUS-FNAの検討

2. 意義、目的

EUS-FNAにおける検体処理法の検討および細胞診正診率の検討

3. 研究期間

平成22年5月27日 ～ 平成25年12月3日

4. 対象

当院病理診断科に提出された細胞診検体（膵穿刺：24例、消化管粘膜下腫瘍：5例）

（※対象期間：平成22年5月 ～ 平成25年12月）

5. 方法

当院ではEUS-FNAが行われる際、細胞検査士が内視鏡室まで出向き、検体採取現場に立ち会って標本作製を行っている。内視鏡医が穿刺した検体を直接スライドガラスに吹き出し、もらい、圧挫法により複数枚細胞診断用標本作製する。その際組織片や凝血塊が認められれば、組織標本用にホルマリン固定し、セルブロック標本作製する。細胞診断用標本のうち1枚をその場でフィールド染色し、細胞採取の有無を確認する。現場での検体処理を行った後、当科で細胞診標本（パパニコロウ染色標本、ギムザ染色標本）、セルブロック標本作製し検討した。

6. 倫理的配慮

細胞診断の結果に反映し、治療方針へ関わるため、検体取り違え、標本作製、鏡検には細心の注意を払い、かつ個人情報の漏洩に関して最大限の注意を払う。

7. 個人情報保護について

個人情報は研究責任者・研究分担者により管理する。患者個人の氏名・住所・電話番号等はデータベース化しない。基本的には呉共済病院のパソコンを用い、データ処理・解析を行う。研究の成果を学会発表等で発表する際には、個人を特定できないよう行う。

8. 問い合わせ・苦情等の窓口

吳共濟病院 病理診斷科 小林 剛 (内線4322)